
田中君の鼻毛

直紀

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

田中君の鼻毛

【Nコード】

N0504A

【作者名】

直紀

【あらすじ】

田中の鼻毛が気になって仕方がない木島、なんとか田中に気付いてもらおうと努力するが……。

俺の名前は木島卓哉、私立の小学校に通う四年生だ。

今日もいつもの通学路を通り、学校に向う。

『おはよー』 『おはよう！』 周りでは沢山の小学生が挨拶を交している、まあ俺も小学生なんだが色々と悩みがある、そんな俺は、のんきな小学生を見てるとイライラしてしまう。

『おーい！！木島あー！！一緒に学校いこーぜえ』 ・・うつ・・・俺の悩みの種がやってきた。

コイツの名前は田中雄大・・あだ名は「ジュノンの星」だ。

まあ、見た目からだろう・・性格も悪くない。

ただ俺は最近こいつに、悩まされている…… 『おい！元気ないぞっ』

「ゴメン考え事してた！！」

そう言って、田中の顔を見る。

今日も出ている。

っーか、成長してる・・心の中で呟いた・・・。

そう、俺の悩みとは、最近、毎日の田中の鼻毛なのだ！！ 一言だけ

「鼻毛、出てるよ」

で、済む事かもしれない・・しかし、もしそれで女性ファンが減り『木島の陰謀だ！！』なんて言われたら、俺の数少ない、女性ファンも減ってしまう（現在2人だけ）・・ なんとか自分で気が付くような流れにしたい。

もしも失敗があったら、田中のあだ名は10分以内に「鼻毛職人」になってしまおうだろう・・しかし、それだけは、なんとかして止めてあげなくては・・「田中、なんか鼻かゆいんだけどティッシュない？」

『ああ、あるよ』 チーン！！俺は勢いよく鼻を咬んだ。

「あゝ気持ちいゝマジ最高！あゝ生きててよかった！！」

：これで田中も俺の真似をして、鼻を咬んでくれれば……『木島：お前ちよっとキモイぞ!』　だっ!　大失敗だー!!　真似する以前に気持ち悪がられたー!!　いや、いや、気を取り戻さなければ……

「いやギャグだよ、ギャグっ!」

俺はマクドもビビる最高の笑顔で言った『……だよな』　ふっ

なんとか回避できた……

よし! 次の作戦を実行するか……

俺は今日の朝ランドセルに準備してあった薬品を、ハンカチに染み込ませ後ろから忍び寄った……
背後から口をハンカチで押さえる。

『うっ! ぐっっ!?』　少しすると、暴れていた田中も静かになり気を失ったようだ。

「チッ! 手間とらせやがって。」　俺は田中を通学路の脇にある林に連れ込んだ……

「悪く思うなよ、お前の為なんだ……」

そして俺は一気に田中の鼻毛を抜く!!　あっ……!?

すっ!!　滑る!!!!　思いもよらない誤算だ。うっ　うっ
ん……

ヤバイ、田中が目を覚ました……　『あれ? 俺、なにしてんだろ?』

「田中、大丈夫か? お前、貧血で5分くらい倒れてたぞ!」

『そっか、助けてくれてありがとう』　また失敗だ!!　『あ

あ、もう学校だ……

『目の前には正門が見える……。タイムアウトだ、今日もダメだった……』

「先生おはようございます」

門の前にいる生徒指導部の先生に挨拶をした。

『おはよう、木島』　『おはよう、たな……ん?』　思わず田中が立ち止まる。

『先生？どうしました？』 『田中……鼻毛出てるぞ！！』

俺は突然の事で何があったのか？ 理解できなかった…。

『じゃあ、先生が抜いてあげるからな』 ブチッ！！ 田

中の鼻毛が抜けた…。

俺はあまりの展開の速さに驚いて叫んだ

「うぁー！！！！！！！！たなかー！！おめでとー！！」

すると田中は…… 『木島……… やっぱり

お前気持ち悪い！！』

（後書き）

直紀です。最後まで読んでくれてありがとうございます！踏み切り（ホラー）もりクマ（その他）と書いたのですが、この田中君の鼻毛が一番楽しく作れたような気がします（ゝ！、＊）　これからも短篇オンリーで頑張っていると思います！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0504a/>

田中君の鼻毛

2011年1月18日22時42分発行